

(11)



なかよく、元気に がんばる学校

権現堂川小学校

本校は、浄誓寺を仮用して明治6年に開校し、今年で百三十五年目を迎えます。児童数79名、市内で最も小規模な学校です。

少人数のよさを生かし一人ひとりの実態に応じて指導・支援を充実させ、基礎的な学力を身につけています。平成18・19年度、幸手市教育委員会の研究委嘱を受け、「自ら学び、考え、行動できる児童の育成」を研究主題に、算数科を中心に研究に組み、子どもたちは友達と考えを交換し合いながらも、自ら主体的に学ぶ力をつけました。また、全校児童を縦割りにした異学年集団をつくり、清掃活動・全校遠足・集団下校等を実施しています。学年の異なる友達と一緒に活動することにより、教え合い学び合う心が育っています。

「にこにこ いきいき 瞳輝く 権小っ子」を目指し、子どもたち・保護者・地域の皆様、そして教職員とが力を合わせ、「みんなで、わたしたちの学校をつくる」という気持ちが、百三十五年の歴史と伝統に支えられた本校には溢れています。



▲ふれあいバザーで、
焼きそばづくりを頑張るお父さんたち



高校生が図書館で返却本の対応

1月31日(木)久喜工業高校の就業体験実習の生徒さんが、図書館で返却本の対応をしました。緊張しながらも時より見せる笑顔が、好印象の対応でした。



交通事故ゼロ校表彰

2月12日(火)市役所で、交通事故ゼロ校の表彰式が行われました。今回表彰されたのは、権現堂川小学校、八代小学校、行幸小学校、さかえ小学校、東中学校の5校。これからも、ルールとマナーを守り交通安全を心がけましょう。



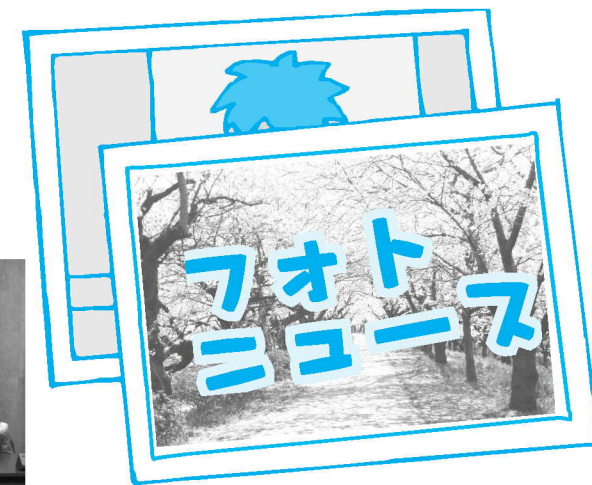
交通安全講習会

2月10日(日)旧幸手東小学校体育館で幸手市シルバー人材センターの会員を対象に、高齢者自転車免許試験講習会が行われ、参加された90人は真剣に免許試験に取り組んでいました。



子ども会議

1月29日(火)市役所で子ども会議が行われました。市内小学校の代表児童20人が参加し、住みよいまちづくりをテーマに、市に対し要望や意見を発表。子どもたちの考える幸手市の将来像が、今後の行政運営に役立てられます。



第60回埼玉県書き初め中央展覧会

1月26日(土)・27日(日)幸手小学校体育館で第60回埼玉県書き初め中央展覧会が行われました。県内各地より選出された小学校・中学校・高校の優秀作品ならびに教職員の作品約3,000点が一同に展示されました。訪れたみなさんは、素晴らしい書の世界に魅了されていました。



幸せロードマップ作成中

1月18日(金)からウェルス幸手で幸せロードマップ作り講座が開かれています。日本ウォーキング協会講師の指導の下、マップ作りのいろはや楽しい歩き方を学び、参加者約30名がウォーキングマップを作成しています。冷たい風をも吹き飛ばす、力強い足取りで、3月完成を目指しています。



若草俳句会

「元日・福寿草」

幸せは

足元に在り福寿草

小林弘和・東五

元日や

見馴れし富士のあらたなり
大熊三郎・北三

人去りて

しずかな入り日お元日
青木澄子・高須賀

元日や

すたれゆくものなつかしく
榎島弘子・中四

元日や

金婚の年迎へたり
金井菊栄・東四

さって川柳会

体調を

今日の歩幅が知っている
中村文造・千塚

苦勞して

作った一句ほっとする
長瀬光江・杉戸町

早春の

風邪ひきそうな露天風呂
井上 薫・東二

花便り

聞いて花見のプラン練る
高島一嘉・中一

燎原短歌会

一本の

襷に賭ける青春の
箱根駅伝
胸熱く観る
桑島正江・東四

家の屋根

覆いて春の雪降り
木立の梢は
蘭玉のごと
宇賀神時子・北一

おぼろ月夜

歌えば香く思い出す
菜の花畑の
小さき分教場
堀山徳子・中四

ガラス越し

障子に和らぐ春の陽に
さえずる鳥の
声かんだかし
森田キヨ子・上高野

ゆらぎあふ

コスモスの花群がりて
浄土と紛ふ
喜多村和子・中五

夕焼けの原

夕焼けの原
喜多村和子・中五

